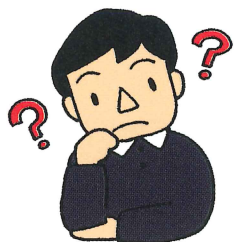


なるほど

ぶつ じ 仏事

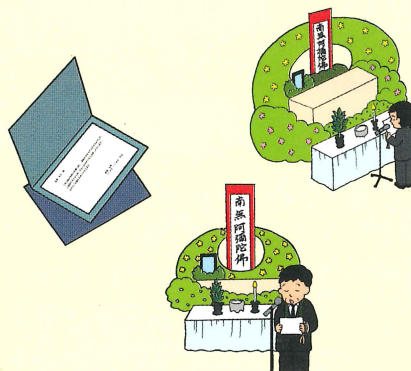


じょう ど しん しゅう ほん がん じ は びん ご きょう く
浄土真宗本願寺派備後教区
じ ぎょう すい しん いん かい
事業推進委員会

葬儀をご縁に 弔辞・弔電・謝辞

我が家は浄土真宗だということは分かっていても、いざ葬儀となるとその特徴や詳しい作法などが分からないことが多いのではないのでしょうか。

又、知らず知らず「ふさわしくない」言葉を使っていることもあります。葬儀を勤めるにあたり浄土真宗のみ教えに、「ふさわしい」言葉を選びたいものです。



浄土真宗のみ教えにふさわしくない？ ふさわしい言葉



くさば かげ てんごく しょうてん
草場の陰・天国・昇天？

じょう ど
浄土

ご れい ぜん
御霊前？

ご ぶつ ぜん
御仏前

こく べつ しき
告別式？

そう ぎ
葬儀

かい みょう
戒名？

ほう みょう
法名

た かい えい みる
他界・永眠？

じょう ど おう じょう
浄土に往生する

めい ふく いの
ご冥福をお祈りします？

あい どう い ひょう
哀悼の意を表します

やす おむ
安らかに眠りください？

みちび
ご導きください

謝 辞

● 私達を導いてくれることと思います

×草場の陰に御仏

頂きました

● 家族の見守るなかお浄土に参らせて

×天国に旅立たせて

まして誠に有り難うございました

● 皆様には、○○の葬儀にご会葬頂き

×告別式

また会える世界

ひとロメ



『仏説阿彌陀經』には「俱会一处」という言葉でお浄土が説かれています。

「俱会一处」とは、「ともに一つところで会う」という意味です。

お浄土とは、この世で別れた方たちと再び仏として会える世界です。

葬儀は故人との永遠の別れを告げる式（告別式）ではなく、別れを通して、また会える世界を喜ばせていただく場でもあります。

弔 電

● お浄土へのご往生の報に接し、謹んでお念仏申します

×永眠の報に接し

を表します

● ご逝去の報に接し、謹んで哀悼の意

×ご昇天の報に接し

を表します

● 在りし日のお姿を偲びつつ、心より哀悼の意を表します

×ご冥福をお祈り申しあげます

いのちの往く先

ひとロメ



冥福とは「冥土で幸福になる」と言う意味です。「冥土」とは、死後に迷い行く暗黒の世界のことをいいます。

浄土真宗のみ教えは、阿彌陀如来より賜る信心一つで、この世のいのちを終えると同時に、お浄土に生まれ、仏に成らせていただく「往生即成仏」です。ですから、故人の冥福を祈る必要はなく、冥土への旅支度も必要ありません。

弔 辞

● 様のご葬儀にあたり、謹んで哀悼の言葉を申し上げます

×お別れの言葉

● 様のご往生にあたり：

×ご他界

● 今生（こんじょう）のお別れは誠に悲しみのきわみであります

×永遠のお別れ

● 幽冥境（ゆうめいさかい）は異なりますが、み仏の国に生まれられ：

×幽冥境（ゆうめいさかい）は異なりますが

● どうぞお浄土よりお導きください

×安らかに眠りください

仏としてのはたらき

ひとロメ



浄土真宗では、阿彌陀如来の本願力によって浄土に往生し仏と成らせていただき（往相）、ふたたび迷いの世界に還り来て、迷いの人びとを導くはたらきをもたせていただきます。（還相）

ですから、この世のいのちを終えた人は、「永遠の眠り」につくではありません。常に私たちを教え導き、はたらいておられるのです。